

## 排出水の排水系統別の汚染状態及び量の届出書

年 月 日

名古屋市長 様

届出者 郵便番号  
住 所

名 称  
代表者氏名

連絡責任者職氏名

電 話 ( )

水質汚濁防止法第6条第3項の規定により、排出水の排水系統別の汚染状態及び量について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※整理番号	
工場又は事業場の所在地		※受理年月日	年 月 日
△ 排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙のとおり。	※審査結果	
		※備考	

- 備考 1 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

別紙

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

										指定項目の別	
	業種その他の区分 (番号)	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m <sup>3</sup> /日)					汚濁負荷量 (kg/日)		※
		通常	最大	通常	最大	Q <sub>c0</sub>	Q <sub>ci</sub>	Q <sub>cj</sub>	通常	最大	
特定排水水											
	合計										
特定排水水以外の排水水	種類及び用途	汚染状態 (mg/l)		水量 (m <sup>3</sup> /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
	合計										
その他の参考事項											

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
  - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
  - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Q<sub>c0</sub>」を「Q<sub>n0</sub>」と、「Q<sub>ci</sub>」を「Q<sub>ni</sub>」と読み替え、Q<sub>cj</sub>の項には記載しないこと。
  - 4 リン含有量について記載する場合には、「Q<sub>c0</sub>」を「Q<sub>p0</sub>」と、「Q<sub>ci</sub>」を「Q<sub>pi</sub>」と読み替え、Q<sub>cj</sub>の項には記載しないこと。
  - 5 ※印の欄には記載しないこと。

別紙

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

										指定項目の別	
業種その他の区分 (番号)	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m <sup>3</sup> /日)					汚濁負荷量 (kg/日)		※	
	通常	最大	通常	最大	Q <sub>c0</sub>	Q <sub>ci</sub>	Q <sub>cj</sub>	通常	最大		
特定排水水											
合計											
種類及び用途	汚染状態 (mg/l)		水量 (m <sup>3</sup> /日)		汚濁負荷量 (kg/日)						
	通常	最大	通常	最大	通常	最大					
特定排水水以外の排水水											
合計											
その他のべき参考事項											

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
  - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
  - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Q<sub>c0</sub>」を「Q<sub>n0</sub>」と、「Q<sub>ci</sub>」を「Q<sub>ni</sub>」と読み替え、Q<sub>cj</sub>の項には記載しないこと。
  - 4 リン含有量について記載する場合には、「Q<sub>c0</sub>」を「Q<sub>p0</sub>」と、「Q<sub>ci</sub>」を「Q<sub>pi</sub>」と読み替え、Q<sub>cj</sub>の項には記載しないこと。
  - 5 ※印の欄には記載しないこと。

別 添

排水水の排水系統別の汚染状態及び量の系統図

